

## 令和5年度 沼津市市民憲章推進協議会総会を開催します

### 要 旨

本会は、沼津市民憲章の精神が市民の生活に融和定着することをはかり、市民の連帯感を深め、明るい郷土をつくることを目的としています。

総会では、市民憲章の賞の表彰式、市民憲章活動支援助成金採択団体による活動報告を行います。また、併せて、全盲の和太鼓奏者・パーカッショニストで社会福祉士でもある片岡亮太氏による講演会を開催します。

### 概 要

1 日 時 令和5年5月31日(水) 13時30分～16時00分

2 場 所 沼津市民文化センター2階 大会議室  
(沼津市御幸町15-1 TEL:055-932-6111)

#### 3 総会の内容

- ・ 市民憲章唱和
- ・ 来賓祝辞(沼津市長、沼津市議会議長)
- ・ 市民憲章の賞 表彰式(5名・1団体)  
笹原ちか子、矢谷朋子、佐野昌夫、岩崎勝稔、鈴木哲雄、  
沼津ライオンズクラブ(敬称省略) ※詳細は別添資料参照
- ・ 市民憲章活動支援助成金採択団体による活動報告(1団体)  
特定非営利活動法人 日本沼津災害救援ボランティアの会

#### 4 講演会概要

- ・ 演 題:「「当たり前」に揺さぶりを!～視点が変われば社会も変わる～」
- ・ 講 師:和太鼓奏者/パーカッショニスト/社会福祉士 片岡亮太氏
- ・ 講師紹介:静岡県三島市出身。11歳の時に盲学校の授業で和太鼓と出会う。  
2007年 上智大学文学部社会福祉学科首席卒業、社会福祉士の資格取得。  
プロ奏者としての活動を開始。

### お問い合わせ先

沼津市市民憲章推進協議会事務局  
(沼津市役所政策推進部地域自治課)  
直通:055-934-4807

令和5年度 市民憲章表彰者一覧

NO	団体or個人名	表彰概要
1	<p>笹原 ちか子さん (ささはら ちかこ)</p>	<p>笹原さんは、平成25年12月に民生委員として委嘱され、約10年間、地域の一人暮らしの高齢者や子供たちの見守り活動を続けています。また、笹原さんは民生委員になられた頃から、静浦小中一貫学校に通う児童たちが事故や事件に巻き込まれることなく安全に登校ができるよう、毎朝、児童の登校時間に合わせ、声掛けや見守りを続けてきました。現在は、浜通りはまゆう前からバスで登校する児童と一緒にバス停まで歩き、バスに乗車するまでを見守るという活動を、毎日お一人でかかさず行っています。見守り活動を通じ、保護者の方や地域の方との信頼関係を築くことで、地域の皆で子供を守り育てていくという地域づくりにも貢献されています。</p> <p>今後も、バスで通学する児童が一人でもいる限りは、毎朝の見守り活動を続けていかれたいとのことでした。</p>
2	<p>矢谷 朋子さん (やたに ともこ)</p>	<p>矢谷さんは6年前に沼津市へ転入し、市内の私立高校で英語講師として教壇に立つ傍ら、令和4年度より地域の子供たちのために「門池ワクワク寺子屋」を企画し実施しています。「門池ワクワク寺子屋」は、夏休みや冬休みの期間を利用して、地域の小学生を対象に、地域の人材、企業、高校部活動の方を講師とした料理、実験、生物観察、門松づくりなど、地域密着型の体験活動を行うものです。各講座30～40名の定員がすぐにいっぱいになってしまうほど、多くの子供たちが参加をしています。また、寺子屋の運営ボランティアとして近隣高校の高校生に参加を呼びかけ、次世代の担い手づくりにも貢献しています。今後も寺子屋を継続して実施しつつ、今後は日常生活とリンクするような体験活動を企画し、子供たちの将来に役立つものになりたいと考えているそうです。</p> <p>また、子供の支援のみならず、東部保健所収容犬の譲渡や、市内の野良猫に対するTNR活動（捕獲して不妊・去勢手術を行い、元の場所に返す活動）、保護譲渡活動にも積極的に取り組んでおり、人と動物が共生できる社会づくりを目指しておられます。</p>
3	<p>佐野 昌夫さん (さの まさお)</p>	<p>佐野さんは、東間門自治会長、千本地区連合自治会長を歴任し、現在は東間門自治会で「老寿会」を牽引されています。「老寿会」の方を中心に声掛けをして、天気の良い日は毎週土曜日に千本小学校のグラウンドでグランドゴルフを、また、毎週火曜日には公民館で輪投げを行うなどし、地域の高齢者の健康増進や地域コミュニティの推進を図る活動を中心となって行っています。また、1年前ほど前からは、限られた屋外スペースで楽しめるモルックも取り入れ、新しい試みも積極的に取り組んでいます。これらの活動は、活動が自粛されがちなコロナ禍においても、感染対策を取りながら屋外環境を活用することで継続され、令和4年度の参加者の延べ数は300名近くに上っています。</p> <p>今後は新しく取り入れたモルックの魅力や楽しさを広めていくことで、これらの地域コミュニティ活動に参加される方をもっと増やしていきたいと考えておられます。</p>
4	<p>岩崎 勝稔さん (いわさき かつとし)</p>	<p>岩崎さんは15年程前、それまで新沢田町の新中川沿いの草刈りを行っていた方がリタイアし、草が生い茂ったままの状態となった土手をなんとかしたいという思いから、ご自身が所有する草刈り機を使用し、河川周辺の清掃作業を始めました。この活動は現在に至るまで継続しており、今は月に1回程度、定期的に草刈り作業を行っています。また、日頃ラジオ体操で使用する新沢田町子供広場においても、近所の方と一緒に草刈りや芝刈りなどの公園清掃活動を行っており、長年にわたり地域の環境美化に貢献されています。</p> <p>また、岩崎さんは、市が実施する子育て支援活動「ファミリーサポート」に奥様が参加したことをきっかけに、県の里親制度に登録し、現在もご自宅で奥様とお二人で里子さんの養育をされています。</p> <p>自らの活動を通じ、人と人との繋がりの大切さや、里親制度の必要性をもっと広く伝えていきたいと考えておられます。</p>

5	鈴木 哲雄さん (すずき てつお)	<p>鈴木さんは、平成22年11月から、約12年間、新田川(しんでんかわ)排水機場(はいすいきじょう)の操作員として従事され、水害から地区を守っています。水害の懸念がある際は、昼夜を問わず、自己を犠牲にして、周辺河川や新田川(しんでんかわ)の水位等をチェックし、必要に応じて、いち早く排水機場に駆け付け、ポンプを操作するなど、迅速に対応されています。</p> <p>また、地区の自主防災会では、継続的かつ積極的に、自主防災の重要性を啓発しているほか、常日頃より、万が一のときを想定し、非常用発電機を円滑に設置できるよう、排水機場周辺の草刈りをするなど、高い意識や責任感を以って、災害に備えていただいております。黄瀬川大橋の橋脚が沈下した令和3年7月の豪雨の際は、黄瀬川の水位が、堤防天端(ていぼうてんぱ)まで、残りあと約2mまで上昇し、鈴木さんも足が震えたことを覚えていすとおっしゃっていました。</p> <p>今後も、地区を水害から守るため、継続的に活動を続けていきたいと考えておられます。</p>
6	沼津ライオンズクラブ (会長：服部 徹一郎 さん) (はっとり げんいちろう)	<p>沼津ライオンズクラブは、平成17年の戸田村との合併により戸田村民憲章が役目を終え、その精神が沼津市民憲章に受け継がれたことをきっかけに、戸田地区住民への市民憲章の普及の最初の足掛かりとして、戸田小中学校の各学級へ市民憲章額の寄贈を行うことへのご提案とご支援をいただきました。これを機とし、以降の平成18年度から令和3年度まで、市内の小中学校に市民憲章額の贈呈を行う事業を実施するにあたり、17年間にわたり当該事業への多大なるご寄附を賜り、憲章額の贈呈事業をご支援くださいました。</p> <p>平成17年度に戸田小中学校から始まった憲章額贈呈事業は、毎年各地区の小中学校を順番に回り贈呈式を行い、令和3年度の今沢小中学校への贈呈をもって、市内の小中学校への贈呈を完了することができました。</p> <p>憲章額は、各学校の学級数分の枚数の贈呈を行い、各教室に掲示していただくとともに、贈呈式の際には生徒の皆さんで市民憲章の唱和を行うなど、未来を担う子供たちに市民憲章の理念を継承するための大きなきっかけづくりとなりました。</p>